

「ぼうさい授業(地震・津波編、水害・土砂災害編)」

2026年度実施校募集のご案内

これまで東京海上日動では、東日本大震災を始めとする大地震の教訓を踏まえ、小学生向けの「ぼうさい授業(地震・津波編)」に加え、2020年より「ぼうさい授業(水害・土砂災害編)」も実施しています。

「地震・津波編」では地震・津波の発生の仕組みや、地震が起こった時の対応、事前の備えなどについて、「水害・土砂災害編」では大雨が降る仕組みや、水害が起こった時の対応、身の守り方や避難所での過ごし方について、動画やイラストを使い児童・生徒の皆さんと話し合いながら進めていきます。

実施要領や応募方法については下記の通りです。

児童・生徒の皆さんが、地震や水害について正しく理解し、いつ起こるかわからない次の災害に備える力を養うため、ぜひ実施をご検討ください。

また、地球温暖化問題をテーマとした環境啓発授業「みどりの授業～マングローブ物語～」(2005年より実施)も実施しています。別途、それぞれのご案内をご覧ください。

<実施要領>

1. 実施時期 2026年12月1日(火)～2027年1月29日(金)
2. 対象 小学校(対象学年:4年生～6年生)及び特別支援学校(対象:高校生)
3. テーマ 地震・津波(発生の仕組み、発生時の対応、事前の備えなど)
水害・土砂災害(発生の仕組み、発生時の対応、避難所での生活など)
4. 関連教科 理科、社会、総合的な学習の時間等
企画:東京海上日動火災保険株式会社
協力:株式会社キャリアリンク
監修:東北大学 災害科学国際研究所・地震津波リスク研究部門
京都大学防災研究所 気象・水象災害研究部門 水文気象災害研究分野
5. 教材開発・監修
6. 形式 教室で「講義+対話」(グループワーク含む)形式で実施
* 動画やイラストを使いクイズを交えて進行し、家族と話し合うためのツールをお渡しします。
7. 所要時間 45分(1時限分) * 終了後に振り返りの授業などを行うことをお勧めします。
8. 講師 東京海上グループの社員・代理店
9. お願いすること パソコン・プロジェクターとスクリーン(または電子黒板)をお借ります。
* 事前にパソコンのバージョンを先生にご確認いただきます。
* 講師料・交通費など学校に費用を負担いただくことはありません。
* 授業の1ヶ月前を目途に、事前打合せをさせていただきます。

<応募方法>

1. 募集学校数 10校程度 (応募校が多い場合は、抽選とさせていただきます。)
2. 応募方法 Eメール・お電話等で参加のご連絡をいただきましたら、申込用紙をお送りいたします。
3. 申込締切 10月30日(金)必着 (お早めのご応募をお願い致します。)
4. 実施校の発表 個別にメールにてご連絡致します。

<お問い合わせ先>

東京海上日動火災保険株式会社

茨城支店 業務チーム 菊池直人

〒310-0015 住所 水戸市宮町1-3-41 メットライフ水戸ビル7F

TEL:029-233-9200 FAX:050-3385-6738 E-mail:naoto.kikuchi@tmnf.jp

授業内容

ぼうさい授業はSDGsの2つの目標に貢献します



※授業の内容は、一部変更となる可能性があります。
※(地)・・・地震・津波編、(水)・・・水害・土砂災害編

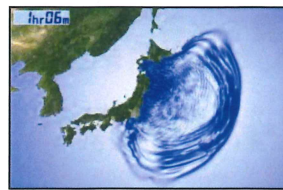
1. 地震はどのように怖い？ (地) なぜ、水害は起こるのだろうか？ (水)

地震・津波編では災害の多い日本での防災・減災について学習する目的や意義をお伝えし、水害・土砂災害編では大雨が降る仕組みや水害が発生するまでの川の様子を、イラストや動画を使ってわかりやすく説明します。



2. 地震や津波はどのように起こるの？ (地) 情報をあつめよう (水)

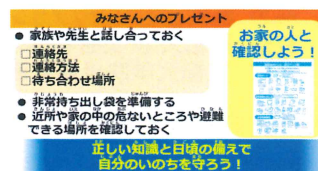
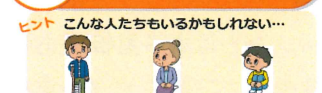
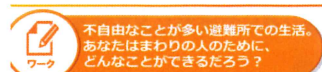
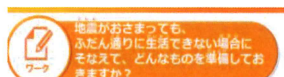
地震・津波編では地震や津波が発生する仕組みをイラストや動画を使ってわかりやすく説明し、水害・土砂災害編では気象情報、ハザードマップなどから自分と周りの人の身を守るための情報収集の方法や避難する時のポイントを紹介합니다。



3. 考えよう「こんなときどうする？」 (地) 避難所での生活を考えよう (水)

地震・津波編では地震が起こった際の身の守り方、地震が起こる前の備えなどについて話し合い、水害・土砂災害編では避難所についてイメージをしてもらい、自分が周りの人のためにできることは何かを話し合います。

地震・津波編では今日からできる防災対策についてまとめます。水害・土砂災害編では自分と周りの人を守るためにできること、避難所での生活についてまとめます。



防災取り組み隊の心得

- 自分とまわりの人を守るために
 - 危険な場所や避難所を知っておく。
 - 正しい情報を集める。
 - 日頃から準備をして、早めに避難する。
- 避難所で生活することになったら...
 - 自分のできることを考えて自分から行動をする。

*ご参考:東京海上日動は、「みどりの授業」「ぼうさい授業(地震・津波編)」で授業に関する豊富な実績があります。



「みどりの授業」は2005年度に開始し、2026年3月末までに、全国の小学校・特別支援学校等で、延べ約900回実施し、約60,000名の児童・生徒の皆さんに授業を受けていただきました。

「ぼうさい授業」は2012年度に開始し、2026年3月末までに全国の小学校・特別支援学校等で、延べ約2,000回実施し、約120,000名の児童・生徒の皆さんに授業を受けていただきました。



東京海上日動